

令和6年度 財政状況資料集

総括表（市町村）

都道府県名	千葉県		市町村類型	IV-3	指定団体等の指定状況		区分		令和6年度(千円)	令和5年度(千円)	区分		令和6年度(千円・%)	令和5年度(千円・%)
					財政健全化等	×	歳入総額	81,084,628			73,853,974	実質収支比率		
市町村名	習志野市		地方交付税種地	2-9	財源超過	×	歳出総額	78,596,393	69,862,268	経常収支比率	97.5	96.9	(97.8)	(97.6)
					首都	○	歳入歳出差引	2,488,235	3,991,706	(※1)				
					近畿	×	翌年度に繰越すべき財源	613,784	563,147	標準財政規模	37,304,947	36,044,480		
人口	令和2年国調(人)	176,197	産業構造(※5)		中部	×	実質収支	1,874,451	3,428,559	財政力指数	0.89	0.89	10.7	11.3
	平成27年国調(人)	167,909			過疎	×	単年度収支	-1,554,108	485,875	公債費負担比率	10.7	11.3		
	増減率(%)	4.9			山振	×	積立金	9,539	1,293	健全化判断比率				
住民基本台帳人口(※7)	令和07.01.01(人)	175,105	区分	令和2年国調	平成27年国調	低開発	×	積立金取崩し額	2,000,000	1,600,000	実質赤字比率	-	-	
	うち日本人(人)	169,212	第1次	319	306	指数表選定	○	実質単年度収支	-3,544,569	-1,112,832	連結実質赤字比率	-	-	
	令和06.01.01(人)	174,963		0.4	0.4	基準財政収入額	26,238,786	25,491,257	資金不足比率(※4)					
	うち日本人(人)	169,741	第2次	14,025	13,664	基準財政需要額	29,724,799	28,554,541	実質公債費比率	7.8	7.6			
	増減率(%)	0.1		17.5	18.3	標準税収入額等	33,737,858	32,707,683		将来負担比率	39.8	30.5		
	うち日本人(%)	-0.3	第3次	65,758	60,769	経常経費充当一般財源等	37,855,231	35,780,802		実質公債費比率	7.8	7.6		
	面積(km ²)	20.97		82.1	81.3	歳入一般財源等	50,387,854	48,091,663			将来負担比率	39.8	30.5	
人口密度(人/km ²)	8,402													
世帯数(世帯)	79,423													
職員の状況(※8)														
特別職等	区分	定数	1人あたり平均給料月額(百円)	一般職員等(※6)	区分	職員数(人)	給料月額(百円)	1人あたり平均給料月額(百円)	地方債現在高	51,670,855	48,970,924			
	市区町村長	1	9,500		一般職員	1,047	3,310,614	3,162	うち公的資金	40,230,322	38,131,388			
	副市区町村長	1	8,100		うち消防職員	219	642,327	2,933	地方債現在高(臨時財政対策債除き)	32,930,887	28,472,589			
	教育長	1	7,300		うち技能労務職員	47	161,116	3,428	債務負担行為額(支出予定額)	18,638,603	18,899,543			
	議会議長	1	5,400		教育公務員	249	798,533	3,207	収益事業収入	180,000	160,000			
	議会副議長	1	5,000		臨時職員	4	11,968	2,992	土地開発基金現在高	-	-			
	議会議員	28	4,800		合計	1,300	4,121,115	3,170	積立金現在高	4,088,607	4,279,068			
					ラスパイレシ指数				100.3	減債基金	2,846,802	4,147,306		
										その他特定目的基金	4,116,537	5,176,047		
一般会計等の一覧	事業会計の一覧	公営企業(法適)の一覧	公営企業(法非適)の一覧	関係する一部事務組合等一覧	地方公社・第三セクター等一覧									
項番	会計名	項番	会計名	項番	会計名	項番	会計名	項番	組合等名	項番	団体名		(※3)	
(1) 一般会計		(2) 国民健康保険特別会計		(5) ガス事業会計		(8) 千葉県市町村総合事務組合(一般会計)		(17) 習志野市開発公社						
		(3) 介護保険特別会計		(6) 水道事業会計		(9) 千葉県市町村総合事務組合(千葉県自治会館管理運営特別会計)		(18) 習志野市文化スポーツ振興財団						
		(4) 後期高齢者医療特別会計		(7) 下水道事業会計		(10) 千葉県市町村総合事務組合(千葉県自治研修センター特別会計)								
						(11) 千葉県市町村総合事務組合(千葉県市町村交通災害共済特別会計)								
						(12) 千葉県後期高齢者医療広域連合(一般会計)								
						(13) 千葉県後期高齢者医療広域連合(後期高齢者医療特別会計)								
						(14) 四市複合事務組合(一般会計)								
						(15) 千葉県競馬組合(一般会計)								
						(16) 北千葉広域水道企業団(水道用水供給事業会計)								

(注釈) ※1: 経常収支比率の()内の数値は、「減収補填債(特例分)」及び「臨時財政対策債」を除いて算出したものである。
 ※2: 各会計の一覧は主な会計(10会計まで)を記載している。
 ※3: 地方公共団体が損失補填等を行っている出資法人で、健全化法の算出対象となっている団体については、「地方公社・第三セクター等」の団体名に○印を付与している。
 ※4: 資金不足比率欄には、資金が不足している会計のみ記載している。
 ※5: 産業構造の比率は、分母を就業人口総数とし、分類不能の産業を除いて算出。
 ※6: 個人情報保護の観点から、対象となる職員数が1人又は2人の場合は、「給料月額(百円)」と「1人あたり給料月額(百円)」を「アスタリスク(*)」としている。(その他、数値のない欄については、すべてハイフン(-)としている)。
 ※7: 人口については、調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。
 ※8: 職員の状況については、調査対象年度の地方公務員給与実態調査に基づいている。

(1) 普通会計の状況 (市町村)

歳入の状況 (単位 千円・%)				
区分	決算額	構成比	經常一般財源等	構成比
地方税	30,769,192	37.9	28,227,086	73.0
地方譲与税	294,575	0.4	294,575	0.8
利子割交付金	18,591	0.0	18,591	0.0
配当割交付金	314,044	0.4	314,044	0.8
株式等譲渡所得割交付金	471,845	0.6	471,845	1.2
分離課税所得割交付金	-	-	-	-
地方消費税交付金	4,322,267	5.3	4,322,267	11.2
ゴルフ場利用税交付金	-	-	-	-
自動車取得税交付金	-	-	-	-
軽油引取税交付金	-	-	-	-
自動車税環境性能割交付金	56,295	0.1	56,295	0.1
法人事業税交付金	354,838	0.4	354,838	0.9
地方特例交付金等	997,864	1.2	997,864	2.6
住宅借入金等特別税額控除減収補填特例交付金	147,618	0.2	147,618	0.4
定額減収減収補填特例交付金	849,347	1.0	849,347	2.2
新型コロナウイルス感染症対策地方税減収補填特例交付金	899	0.0	899	0.0
地方交付税	3,640,099	4.5	3,440,638	8.9
普通交付税	3,440,638	4.2	3,440,638	8.9
特別交付税	196,497	0.2	-	-
震災復興特別交付税	2,964	0.0	-	-
(一般財源計)	41,239,610	50.9	38,498,043	99.5
交通安全対策特別交付金	12,554	0.0	12,554	0.0
分担金・負担金	275,479	0.3	-	-
使用料	1,101,369	1.4	128,325	0.3
手数料	713,850	0.9	-	-
国庫支出金	15,108,145	18.6	-	-
国有提供交付金(特別区財調交付金)	-	-	-	-
都道府県支出金	4,657,057	5.7	-	-
財産収入	151,871	0.2	52,837	0.1
寄附金	132,349	0.2	-	-
繰入金	5,066,221	6.2	-	-
繰越金	2,191,706	2.7	-	-
諸収入	2,480,366	3.1	2	0.0
地方債	7,954,051	9.8	-	-
うち減収補填債(特例分)	-	-	-	-
うち臨時財政対策債	126,451	0.2	-	-
歳入合計	81,084,628	100.0	38,691,761	100.0

地方税の状況 (単位 千円・%)				
区分	収入済額	構成比	超過課税分	
普通税	28,227,086	91.7	282,257	
法定普通税	28,227,086	91.7	282,257	
市町村民税	15,218,050	49.5	282,257	
個人均等割	293,266	1.0	-	
所得割	13,038,244	42.4	-	
法人均等割	489,560	1.6	61,356	
法人税割	1,396,980	4.5	220,901	
固定資産税	11,908,391	38.7	-	
うち純固定資産税	11,737,041	38.1	-	
軽自動車税	174,698	0.6	-	
市町村たばこ税	925,947	3.0	-	
釧産税	-	-	-	
特別土地保有税	-	-	-	
法定外普通税	-	-	-	
目的税	2,542,106	8.3	-	
法定目的税	2,542,106	8.3	-	
入湯税	-	-	-	
事業所税	-	-	-	
都市計画税	2,542,106	8.3	-	
水利地益税等	-	-	-	
法定外目的税	-	-	-	
旧法による税	-	-	-	
合計	30,769,192	100.0	282,257	

区分	令和6年度	令和5年度
徴収率 現・計	99.3	97.0
(%) 年	99.2	95.7
	99.5	98.2
	99.1	95.4
	99.4	98.1

公営事業等への繰出		国民健康保険事業会計の状況	
合計	6,369,606	実質収支	51,991
下水道	1,156,814	再差引収支	-206,604
ガス	7,447	加入世帯数(世帯)	17,806
上水道	3,297	被保険者数(人)	24,528
介護サービス	783	被保険者	120
国民健康保険	1,132,558	保険料(料)収入額	120
その他	4,068,707	1人当り	335
		国庫支出金	-
		保険給付費	335

歳出の状況 (単位 千円・%)				
区分	決算額 (A)	構成比	(A)のうち普通建設事業費	(A)のうち充当一般財源等
議会費	429,454	0.5	-	429,068
総務費	5,950,114	7.6	92,610	4,918,321
民生費	33,315,875	42.4	984,559	17,836,488
衛生費	7,351,206	9.4	2,316,194	4,734,624
労働費	14,459	0.0	-	14,118
農林水産業費	75,253	0.1	1,901	72,892
商工費	852,672	1.1	-	237,069
土木費	5,196,728	6.6	1,957,352	3,599,941
消防費	2,295,684	2.9	136,166	2,204,007
教育費	17,684,477	22.5	10,080,856	8,445,288
災害復旧費	-	-	-	-
公債費	5,423,024	6.9	-	5,400,356
諸支出金	7,447	0.0	-	7,447
前年度繰上充用金	-	-	-	-
歳出合計	78,596,393	100.0	15,569,638	47,899,619

性質別歳出の状況 (単位 千円・%)					
区分	決算額	構成比	充当一般財源等	經常経費充当一般財源等	經常収支比率
義務的経費計	38,996,237	49.6	24,990,863	22,913,863	59.0
人件費	13,978,511	17.8	12,448,870	12,227,190	31.5
うち職員給	9,264,893	11.8	8,081,583	-	-
扶助費	19,594,702	24.9	7,141,637	5,286,317	13.6
公債費	5,423,024	6.9	5,400,356	5,400,356	13.9
元利償還金	5,412,563	6.9	5,389,895	5,389,895	13.9
うち元金	5,254,120	6.7	5,232,480	5,232,480	13.5
うち利子	158,443	0.2	157,415	157,415	0.4
一時借入金利子	10,461	0.0	10,461	10,461	0.0
その他の経費	24,030,518	30.6	19,086,370	14,941,368	38.5
物件費	12,760,417	16.2	9,830,908	8,101,919	20.9
維持補修費	64,171	0.1	56,791	53,994	0.1
補助費等	4,680,234	6.0	4,285,640	2,641,690	6.8
うち一部事務組合負担金	215,801	0.3	215,801	164,019	0.4
繰出金	5,202,048	6.6	4,421,624	4,143,765	10.7
積立金	715,748	0.9	491,407	-	-
投資・出資金・貸付金	607,900	0.8	-	-	-
前年度繰上充用金	-	-	-	-	-
投資的経費計	15,569,638	19.8	3,822,386	-	-
うち人件費	728,983	0.9	722,224	-	-
普通建設事業費	15,569,638	19.8	3,822,386	-	-
うち補助	5,878,445	7.5	260,114	-	-
うち単独	9,430,119	12.0	3,543,436	-	-
災害復旧事業費	-	-	-	-	-
失業対策事業費	-	-	-	-	-
歳出合計	78,596,393	100.0	47,899,619	-	-

(注釈)
 普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、
 単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。

(2)各会計、関係団体の財政状況及び健全化判断比率（市町村）

令和6年度 千葉県習志野市

一般会計等の財政状況(単位:百万円)

会計名	歳入	歳出	形式収支	実質収支	他会計等からの繰入金	地方債現在高	備考
1 一般会計	81,500	79,012	2,488	1,874	5,366	51,673	-
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
41							
42							
43							
44							
45							
46							
47							
48							
49							
50							
51							
52							
53							
54							
55							
56							
57							
58							
59							
60							
61							
62							
63							
64							
65							
66							
67							
68							
69							
70							
71							
72							
73							
74							
75							
76							
77							
78							
79							
80							
81							
82							
83							
84							
85							
86							
87							
88							
89							
90							
91							
92							
93							
94							
95							
96							
97							
98							
99							
100							
101							
102							
103							
104							
105							
106							
107							
108							
109							
110							
111							
112							
113							
114							
115							
116							
117							
118							
119							
120							
121							
122							
123							
124							
125							
126							
127							
128							
129							
130							
131							
132							
133							
134							
135							
136							
137							
138							
139							
140							
141							
142							
143							
144							
145							
146							
147							
148							
149							
150							
151							
152							
153							
154							
155							
156							
157							
158							
159							
160							
161							
162							
163							
164							
165							
166							
167							
168							
169							
170							
171							
172							
173							
174							
175							
176							
177							
178							
179							
180							
181							
182							
183							
184							
185							
186							
187							
188							
189							
190							
191							
192							
193							
194							
195							
196							
197							
198							
199							
200							
201							
202							
203							
204							
205							
206							
207							
208							
209							
210							
211							
212							
213							
214							
215							
216							
217							
218							
219							
220							
221							
222							
223							
224							
225							
226							
227							
228							
229							
230							
231							
232							
233							
234							
235							
236							
237							
238							
239							
240							
241							
242							
243							
244							
245							
246							
247							
248							
249							
250							
251							
252							
253							
254							
255							
256							
257							
258							
259							
260							
261							
262							
263							
264							
265							
266							
267							
268							
269							
270							
271							
272							
273							
274							
275							
276							
277							
278							
279							
280							
281							
282							
283							
284							
285							
286							
287							
288							
289							
290							
291							
292							
293							
294							
295							
296							
297							
2							

(3) 市町村財政比較分析表(普通会計決算)

令和6年度

千葉県習志野市

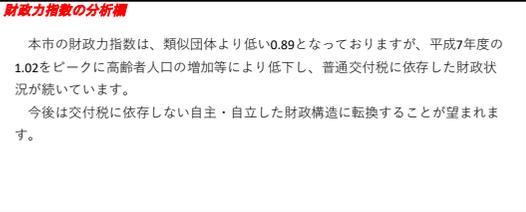
人口	175,105	人(R7.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	169,212	人(R7.1.1現在)	連結実質赤字比率	-	%
面積	20.97	km ²	実質公債費比率	7.8	%
歳入総額	81,084,628	千円	将来負担比率	39.8	%
歳出総額	78,596,393	千円	市町村類型	R02 IV-3 R03 IV-3 R04 IV-3	
実質収支	1,874,451	千円	(年度毎)	R05 IV-3 R06 IV-3	
標準財政規模	37,304,947	千円			
地方債現在高	51,670,865	千円			



※市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表示しない。
 ※「人件費・物件費等の状況」の決算額は、人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。
 ※人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に記載されている人口に基づいている。
 ※類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和6年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。
 ※「定員管理の状況」の「人口1,000人当たり職員数」の算出に用いる職員数及び「給与水準(国との比較)」の「ラスパイレス指数」については、各調査対象年度の地方公務員給与実態調査に基づいている。

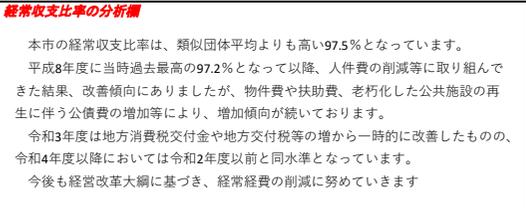
財政力

類似団体内順位 17/36 全国平均 0.49 千葉県平均 0.69



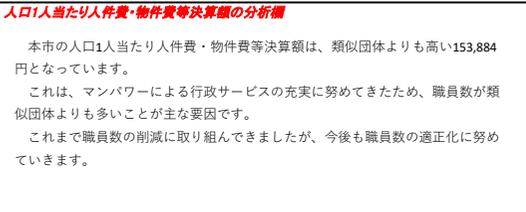
財政構造の弾力性

類似団体内順位 31/36 全国平均 93.8 千葉県平均 94.1



人件費・物件費等の状況

類似団体内順位 29/36 全国平均 169,281 千葉県平均 147,933



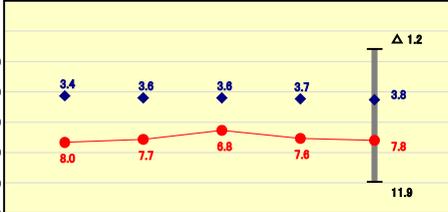
将来負担の状況

類似団体内順位 29/36 全国平均 6.2 千葉県平均 25.2



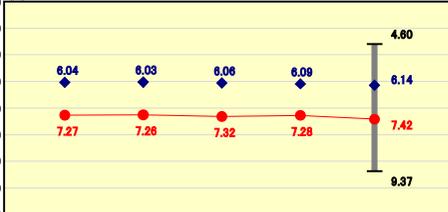
公債費負担の状況

類似団体内順位 32/36 全国平均 5.6 千葉県平均 5.9



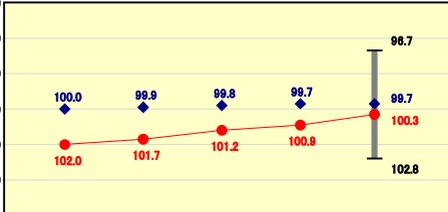
定員管理の状況

類似団体内順位 31/36 全国平均 8.41 千葉県平均 7.56



給与水準 (国との比較)

類似団体内順位 25/36 全国市平均 98.6 全国町村平均 96.4



(4)-1 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

令和6年度

千葉県習志野市

経常収支比率の分析

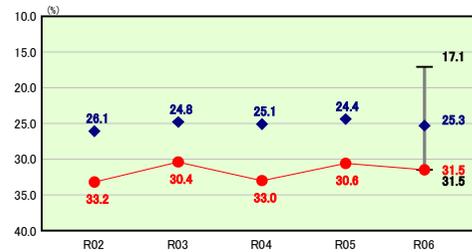
人口	175,105	人(R7.1.1現在)	実収赤字比率	-	%
うち日本人	169,212	人(R7.1.1現在)	連結実収赤字比率	-	%
面積	20.97	km ²	実収公債費比率	7.8	%
歳入総額	81,084,628	千円	将来負担比率	39.8	%
歳出総額	78,596,393	千円	市町村類型	R02 IV-3 R03 IV-3 R04 IV-3	
実収収支	1,874,451	千円	(年度毎)	R05 IV-3 R06 IV-3	
標準財政規模	37,304,947	千円			
地方債現在高	51,670,855	千円			



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に記載されている人口に基づいている。
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和6年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。

人件費

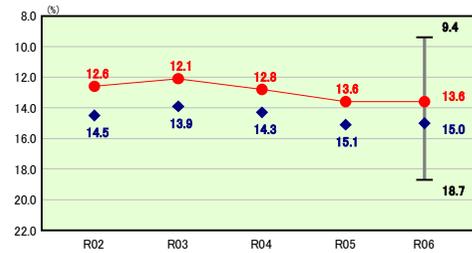
類似団体内順位 35/36 全国平均 26.6 千葉県平均 28.1



人件費の分析欄
 本市の人件費にかかる経常収支比率は、類似団体平均よりも高い31.5%となっています。
 これは、保育所、幼稚園、こども園、高等学校などを直営で運営しているために、職員数が類似団体平均と比較して多いことが主な要因です。今後も引き続き民間活力の導入などにより、人件費の抑制に努めていきます。

扶助費

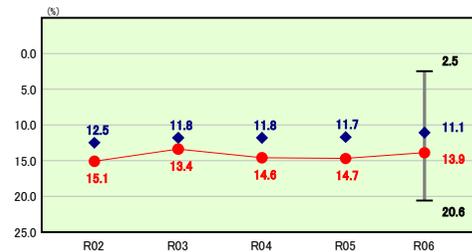
類似団体内順位 11/36 全国平均 13.4 千葉県平均 13.7



扶助費の分析欄
 本市の扶助費にかかる経常収支比率は、類似団体内11位の13.6%となっています。
 これは、人口1人当たりの社会福祉費や児童福祉費、生活保護費が類似団体平均より低いことが主な要因です。
 しかしながら、社会福祉費及び生活保護費は増加傾向にあるため、市単独での扶助を見直すなど財政を圧迫する上昇傾向に歯止めをかけるよう努めていきます。

公債費

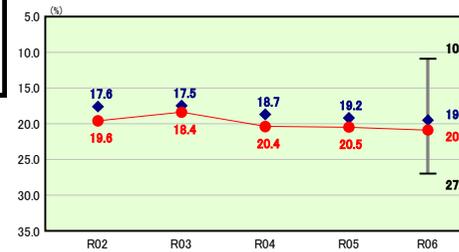
類似団体内順位 27/36 全国平均 15.0 千葉県平均 12.9



公債費の分析欄
 本市の公債費にかかる経常収支比率は、類似団体平均よりも高い13.9%となっています。
 (旧)緊急防災・減災事業債、臨時財政対策債等の償還額が減少したことから、前年度比0.8ポイントの減少となっています。

物件費

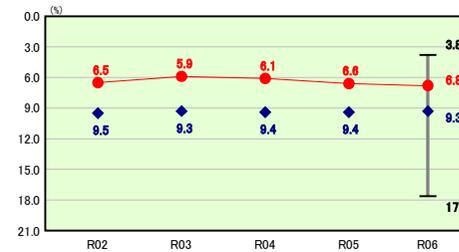
類似団体内順位 23/36 全国平均 15.6 千葉県平均 18.8



物件費の分析欄
 本市の物件費にかかる経常収支比率は、類似団体平均よりも高い20.9%となっています。
 これは、類似団体と比較して多くの保育所、幼稚園、小学校、中学校、公民館、図書館などを所有しているため、その維持管理、運営経費が多くなっていることが主な要因です。今後は施設のあり方を考え、物件費の抑制に努めていきますが、職員数の削減に伴い、委託化が進められていることから、物件費の増加が見込まれます。

補助費等

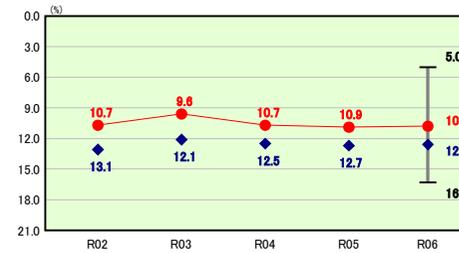
類似団体内順位 8/36 全国平均 10.7 千葉県平均 8.7



補助費等の分析欄
 本市の補助費等にかかる経常収支比率は、類似団体内8位の6.8%となっています。
 これは、国・県や一部事務組合等への負担金が類似団体よりも低いことが主な要因です。

その他

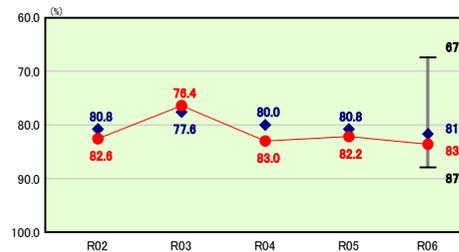
類似団体内順位 7/36 全国平均 12.5 千葉県平均 11.9



その他の分析欄
 本市のその他にかかる経常収支比率は、類似団体平均よりも低い10.8%となっています。
 前年度比は全国平均と同様に0.1ポイントの減少となっています。

公債費以外

類似団体内順位 22/36 全国平均 78.8 千葉県平均 81.2



公債費以外の分析欄
 本市の公債費以外にかかる経常収支比率は、類似団体平均よりも高い83.6%となっています。
 これは、類似団体平均に比べ扶助費や補助費等の経常収支比率が低くなっている一方、人件費や公債費、物件費の経常収支比率が高くなっているためです。

(4)-2 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

人件費及び人件費に準ずる費用の分析



人件費及び人件費に準ずる費用

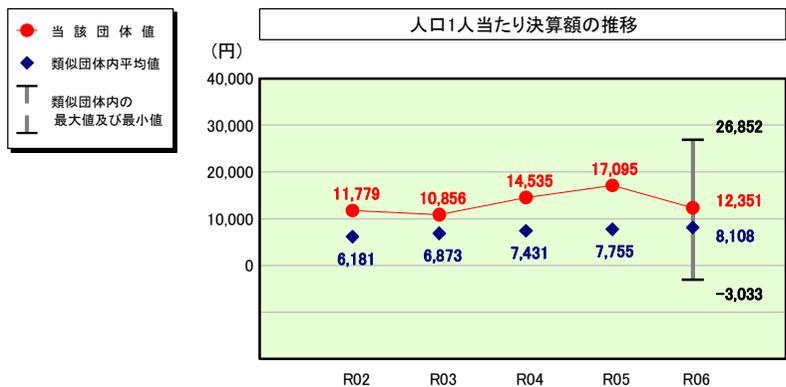
	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体 (円)	類似団体平均 (円)	対比 (%)
人件費	13,978,511	79,829	66,742	19.6
一部事務組合負担金(補助費等)	25,854	148	1,287	▲ 88.5
公営企業(法適)等に対する繰出し(補助費等)	104,862	599	1,074	▲ 44.2
公営企業(法適)等に対する繰出し(投資及び出資金・貸付金)	-	-	41	-
公営企業(法非適)等に対する繰出し(繰出金)	438,267	2,503	2,303	8.7
事業費支弁に係る職員の人件費(投資的経費)	728,983	4,163	1,496	178.3
▲退職金	▲ 586,156	▲ 3,347	▲ 3,858	▲ 13.2
合計	14,690,321	83,894	69,084	21.4

参考

	当該団体	類似団体平均	対比(差引)
人口1,000人当たり職員数(人)	7.42	6.14	1.28
ラスパイレス指数	100.3	99.7	0.6

(注) 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。

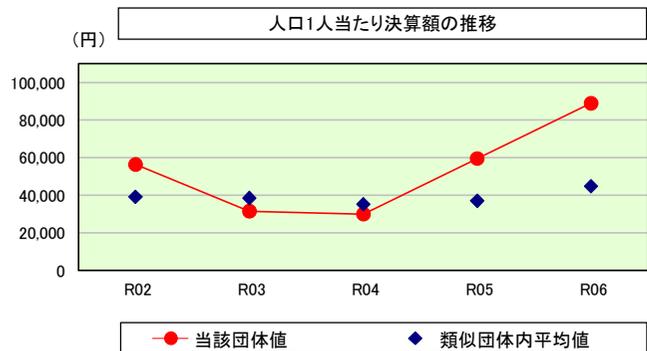
公債費及び公債費に準ずる費用の分析



公債費及び公債費に準ずる費用(実質公債費比率の構成要素)

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体 (円)	類似団体平均 (円)	対比 (%)
元利償還金の額 (繰上償還額等を除く)	5,203,346	29,716	26,372	12.7
積立不足額を考慮して算定した額	27,600	158	3	5,166.7
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)	125,000	714	27	2,544.4
公営企業に要する経費の財源とする地方債の償還の財源に 充てたと認められる繰入金	703,496	4,018	5,235	▲ 23.2
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる 補助金又は負担金	105,798	604	476	26.9
公債費に準ずる債務負担行為に係るもの	759,640	4,338	969	347.7
一時借入金利息 (同一団体における会計間の現金運用に係る利息は除く)	-	-	-	-
▲特定財源の額	▲ 1,339,315	▲ 7,649	▲ 7,307	4.7
▲地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として 普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	▲ 3,422,803	▲ 19,547	▲ 17,667	10.6
合計	2,162,762	12,351	8,108	52.3

(参考) 普通建設事業費の分析



普通建設事業費

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額				
		当該団体(円)	増減率(%) (A)	類似団体平均(円)	増減率(%) (B)	(A)-(B)
R02	9,870,096	56,337	13.7	39,221	4.2	9.5
うち単独分	8,327,176	47,530	18.2	24,821	▲ 0.5	18.7
R03	5,535,972	31,567	▲ 44.0	38,566	▲ 1.7	▲ 42.3
うち単独分	4,403,591	25,110	▲ 47.2	24,059	▲ 3.1	▲ 44.1
R04	5,246,274	30,011	▲ 4.9	35,156	▲ 8.8	3.9
うち単独分	3,646,781	20,861	▲ 16.9	22,430	▲ 6.8	▲ 10.1
R05	10,428,591	59,605	98.6	37,029	5.3	93.3
うち単独分	5,999,047	34,288	64.4	23,232	3.6	60.8
R06	15,569,638	88,916	49.2	44,805	21.0	28.2
うち単独分	9,430,119	53,854	57.1	29,857	28.5	28.6
過去5年間平均	9,330,114	53,287	22.5	38,955	4.0	18.5
うち単独分	6,361,343	36,329	15.1	24,880	4.3	10.8

(5) 市町村性質別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

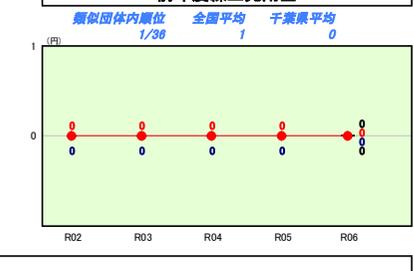
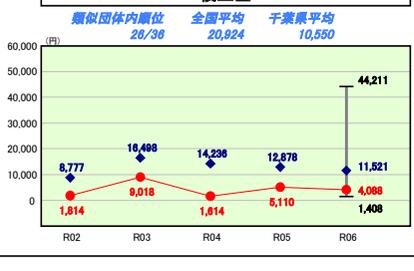
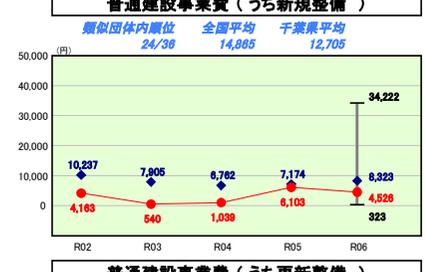
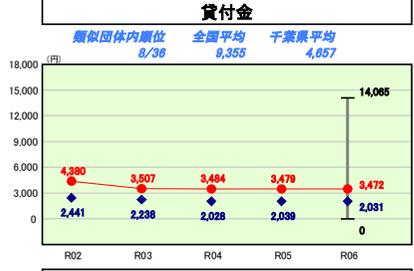
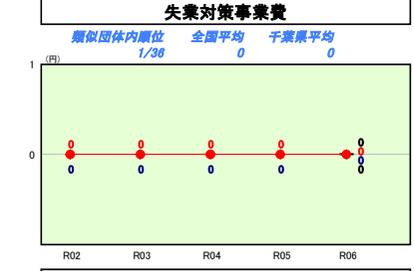
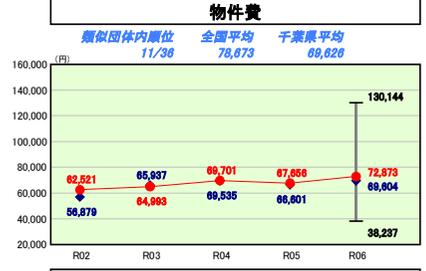
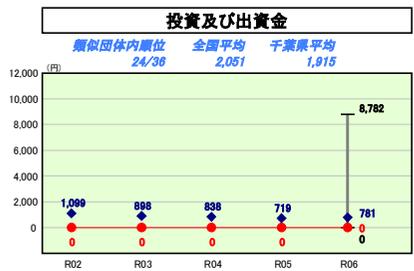
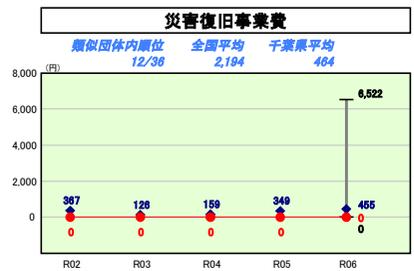
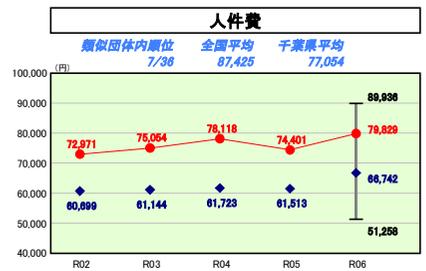
令和6年度

千葉県習志野市

人口	175,105 人(R7.1.1現在)	実質赤字比率	-	%	
うち日本人	169,212 人(R7.1.1現在)	連結実質赤字比率	-	%	
面積	20.97 km ²	実質公債費比率	7.8	%	
農入総額	81,084,628 千円	将来負担比率	39.8	%	
農出総額	78,598,393 千円	市町村類型	R02 IV-3	R03 IV-3	R04 IV-3
実収支	1,874,461 千円	(年度毎)	R05 IV-3	R06 IV-3	
標準財政規模	37,304,947 千円				
地方債現在高	51,670,855 千円				

- 当該団体値
- ◆ 類似団体内平均値
- ┌ 類似団体内の最大値及び最小値

※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和6年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



性質別歳出の分析

住民一人当たりのコストを性質別に比較すると類似団体平均よりも高いものは、主に人件費や公債費、普通建設事業費(更新設備)となっています。これは本市のまちづくりの基本理念である「文教住宅都市憲章」のもとに整備されてきた保育所、幼稚園、高等学校などの公共施設に職員を配置していること、また、老朽化した公共施設の改修等の対応のため、他市に比べて高い数値になっています。

一方、類似団体平均よりも低いのは、扶助費、維持補修費などとなっています。扶助費は社会福祉費や児童福祉費、生活保護費が類似団体平均より低いため、補助費等は一部事務組合や国、県への負担金が類似団体よりも低いためです。維持補修費は、市場がコンパクトなことから土木費が類似団体と比較して低いと考えられます。

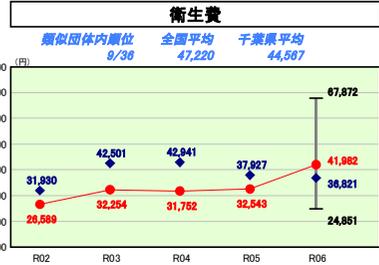
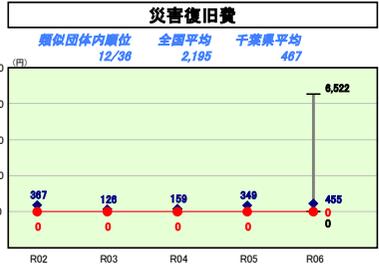
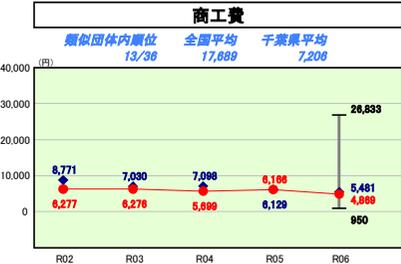
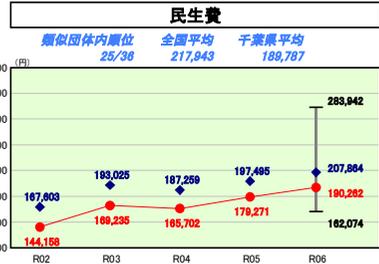
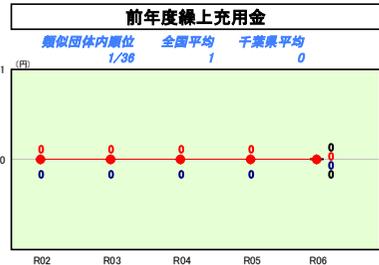
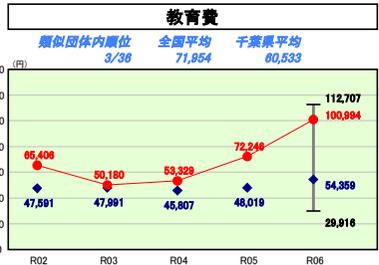
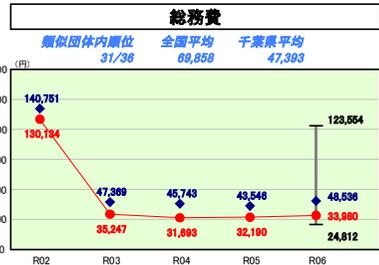
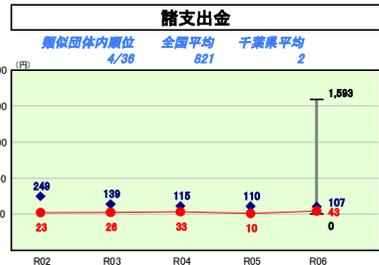
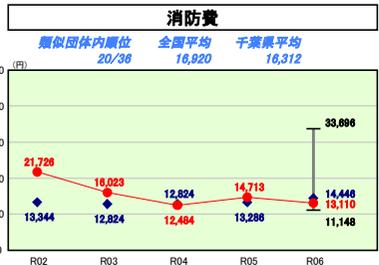
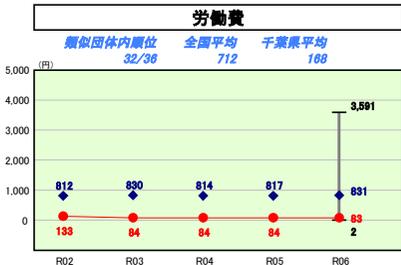
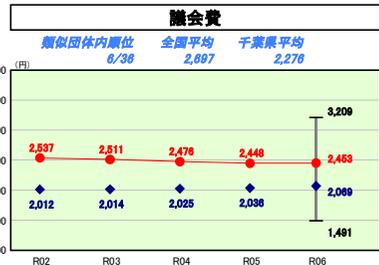
令和2年度の補助費等が大幅に増加している理由は、特別定額給付金を支給したことによるものです。

(6) 市町村目的別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

人口	175,105人(R7.1.1現在)	実質赤字比率	-%
うち日本人	169,212人(R7.1.1現在)	運輸実質赤字比率	-%
面積	20.97km ²	実質公債費比率	7.8%
入籍者数	81,084,628千円	将来負担比率	39.8%
農業産出額	78,596,393千円	市町村類型	R02 IV-3 R03 IV-3 R04 IV-3
実収支	1,874,451千円	(年度毎)	R05 IV-3 R06 IV-3
標準財政規模	37,304,947千円		
地方債現在高	51,670,855千円		

- 当該団体値
- ◆ 類似団体内平均値
- ┌ 類似団体内の最大値及び最小値

※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和6年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



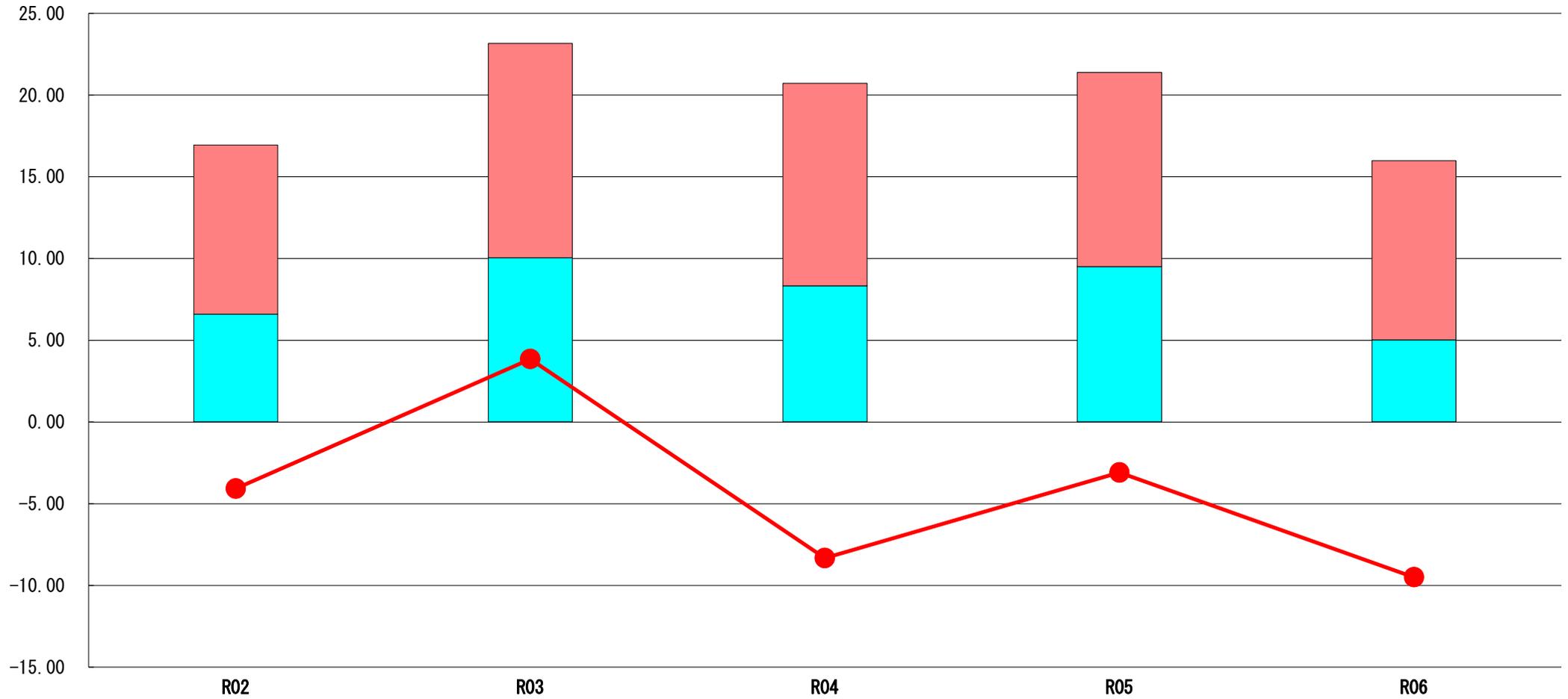
目的別歳出の分析
 住民一人当たりのコストを目的別に分析すると、教育費が類似団体平均より特になくなってきています。これは、小・中学校の校舎改築や長寿命化改修工事を行ったことによるものです。
 令和2年度に大幅に増加している総務費及び消防費について、総務費においては特別定額給付金を支給したため、消防費においては消防庁舎の建替工事が本格化したことによるものです。
 一方、主に民生費や農林水産業費は類似団体平均より低くなっています。民生費は社会福祉費や児童福祉費、生活保護費が類似団体平均より低いため、農林水産業費は第1次産業への従事者が減少していることから、従前から低い水準となっています。

(7) 実質収支比率等に係る経年分析（市町村）

令和6年度

千葉県習志野市

標準財政規模比（%）



標準財政規模比（%）

区分	年度	R02	R03	R04	R05	R06
 財政調整基金残高		10.35	13.11	12.39	11.87	10.96
 実質収支額		6.59	10.05	8.33	9.51	5.02
 実質単年度収支		▲ 4.07	3.85	▲ 8.32	▲ 3.09	▲ 9.50

分析欄

令和6年度決算における一般会計の実質収支額は18億7千4百万円で、実質収支額の標準財政規模比は5.02%となっています。前年度に比べて黒字額が15億5千4百万円減少したことにより、4.49ポイントの減となっています。

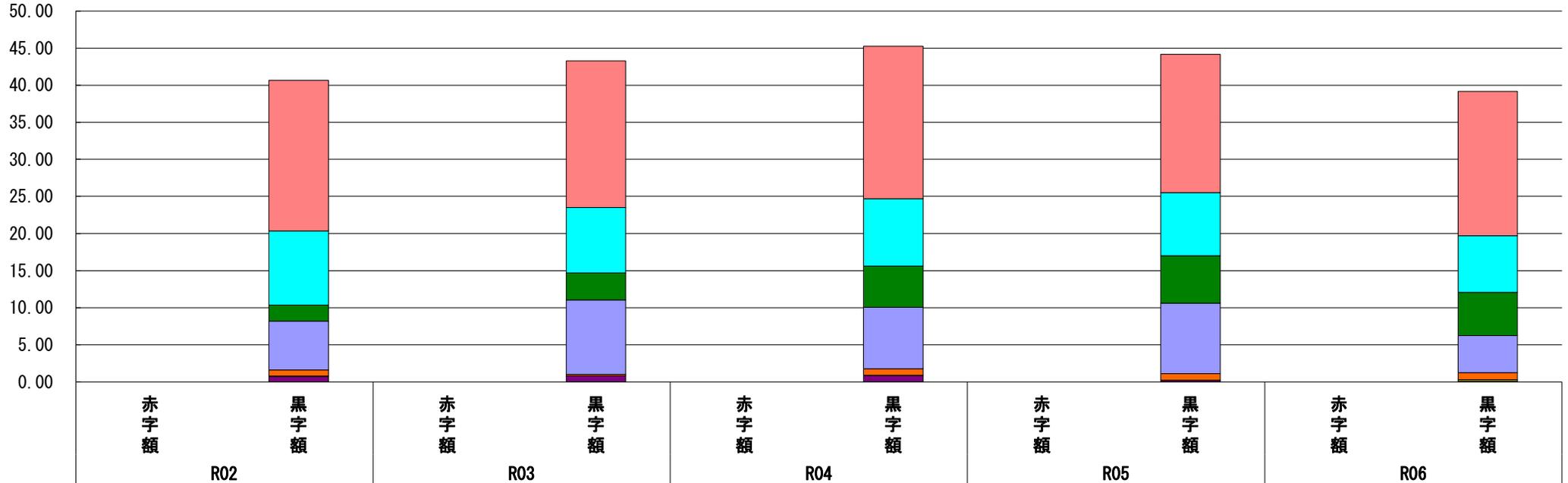
財政調整基金については、剰余金処分として18億円を積み立てたことにより、令和6年度末時点の基金残高は40億8千9百万円となりました。

(8) 連結実質赤字比率に係る赤字・黒字の構成分析（市町村）

令和6年度

千葉県習志野市

標準財政規模比（%）



標準財政規模比（%）

会計	年度	R02	R03	R04	R05	R06
ガス事業会計		20.30	19.76	20.59	18.70	19.47
水道事業会計		9.99	8.84	9.07	8.50	7.63
下水道事業会計		2.17	3.65	5.54	6.38	5.81
一般会計		6.58	10.04	8.32	9.51	5.02
介護保険特別会計		0.82	0.18	0.87	0.90	0.95
後期高齢者医療特別会計		0.01	0.00	0.01	0.01	0.15
国民健康保険特別会計		0.76	0.82	0.87	0.19	0.13
その他会計（赤字）		-	-	-	-	-
その他会計（黒字）		-	-	-	-	-

分析欄

令和6年度における各会計の実質収支はいずれも黒字で、前年度に比べ連結黒字額は13億1千4百万円減少しました。

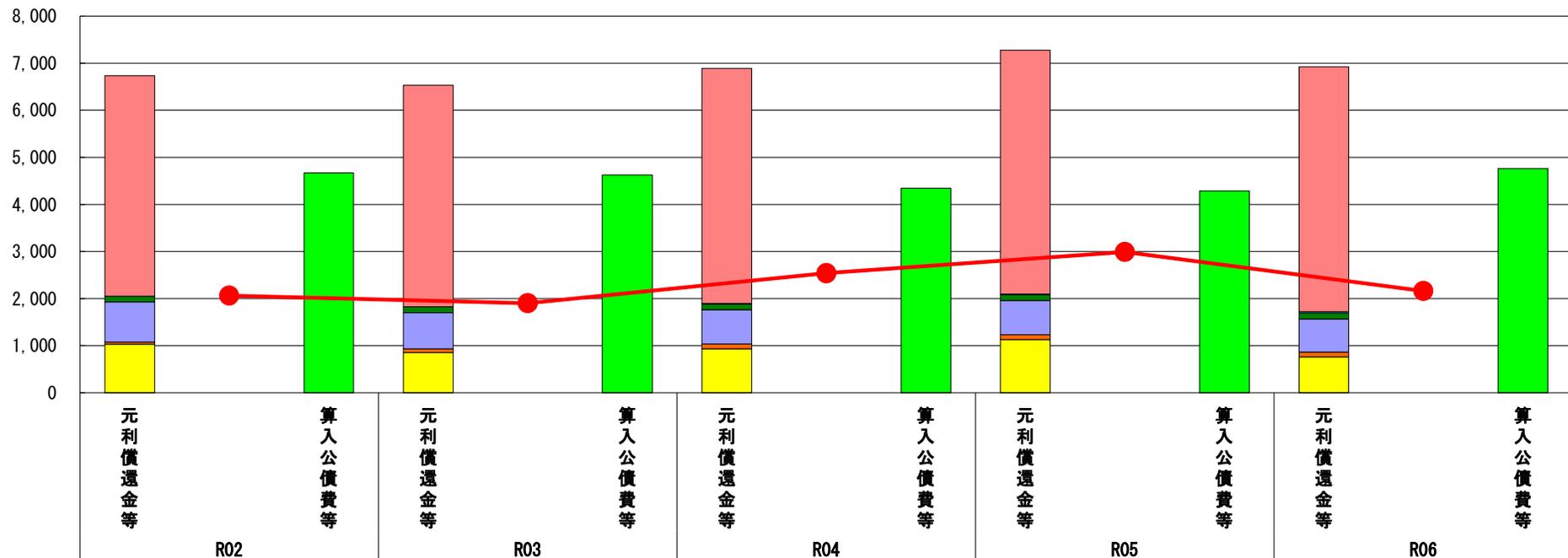
この減少の主な理由は、介護保険特別会計で3千万円、後期高齢者医療特別会計で5千万円増加した一方で、一般会計で15億5千4百万円、ガス事業会計で5億2千6百万円、水道事業会計で2億1千7百万円減少したことによるものです。

(9) 実質公債費比率（分子）の構造（市町村）

令和6年度

千葉県習志野市

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	R02	R03	R04	R05	R06
元利償還金等 (A)	元利償還金		4,679	4,708	4,989	5,173	5,203
	減債基金積立不足算定額※2		-	1	11	20	28
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額		122	122	122	122	125
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金		853	770	727	726	703
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等		45	75	105	103	106
	債務負担行為に基づく支出額		1,034	855	932	1,129	760
	一時借入金の利子		-	-	-	-	-
算入公債費等 (B)	算入公債費等		4,669	4,628	4,346	4,283	4,762
(A) - (B)	実質公債費比率の分子		2,064	1,903	2,540	2,990	2,163

分析欄

令和6年度決算における実質公債費比率は7.8%で、前年度に比べ0.2ポイントの増加となっています。
これは、令和6年度単年度実質公債費比率が、令和3年度に比べ0.5ポイント増加したことにより、3か年の平均で算出する実質公債費比率の値に影響したものであり、元利償還金等から基準財政需要額に算入される公債費等を差し引いた実質公債費比率の分子が2億5千9百万円増加したこと、普通交付税額等で構成される標準財政規模の増加により実質公債費比率の分母が16億9千1百万円増加したことによるものです。

※ 減債基金積立不足算定額=(C) × (1 - (D)/(E))

(参考)

(百万円)

減債基金積立状況等 (注)		年度	R02	R03	R04	R05	R06
減債基金積立状況等 (注)	満期一括償還地方債に係る実質償還額又は理論償還額のいずれか少ない額 (C)		50	50	50	50	50
	前年度末減債基金残高 (D)		600	600	570	510	570
	前年度末減債基金積立相当額 (E)		496	618	740	618	740

分析欄

本市では令和元年度まで、市場公募地方債3億円を5年満期一括償還という条件で発行しています。減債基金には、3億円の発行に対し、毎年3千万円を積み立てています。5年後の一括償還時には、それまでに積み立てた1億5千万円を取崩し、残額の1億5千万円を借り換えています。なお、令和2年度より借換債の発行を取りやめています。

(注) 減債基金のうち、実質公債費比率の算定に用いる満期一括償還地方債の償還の財源に係るもののみを記入。

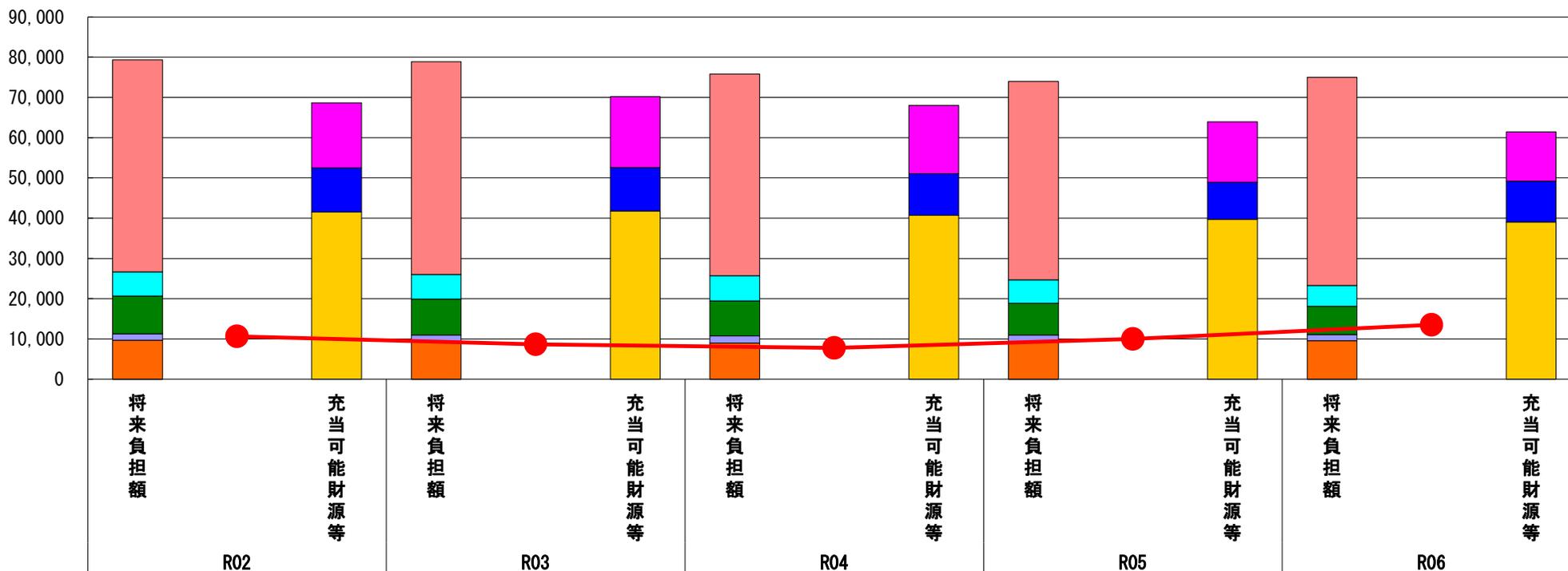
減債基金積立金の年度を超えた一般会計又は特別会計への貸付額は控除して記入

(10) 将来負担比率（分子）の構造（市町村）

令和6年度

千葉県習志野市

(百万円)



(百万円)

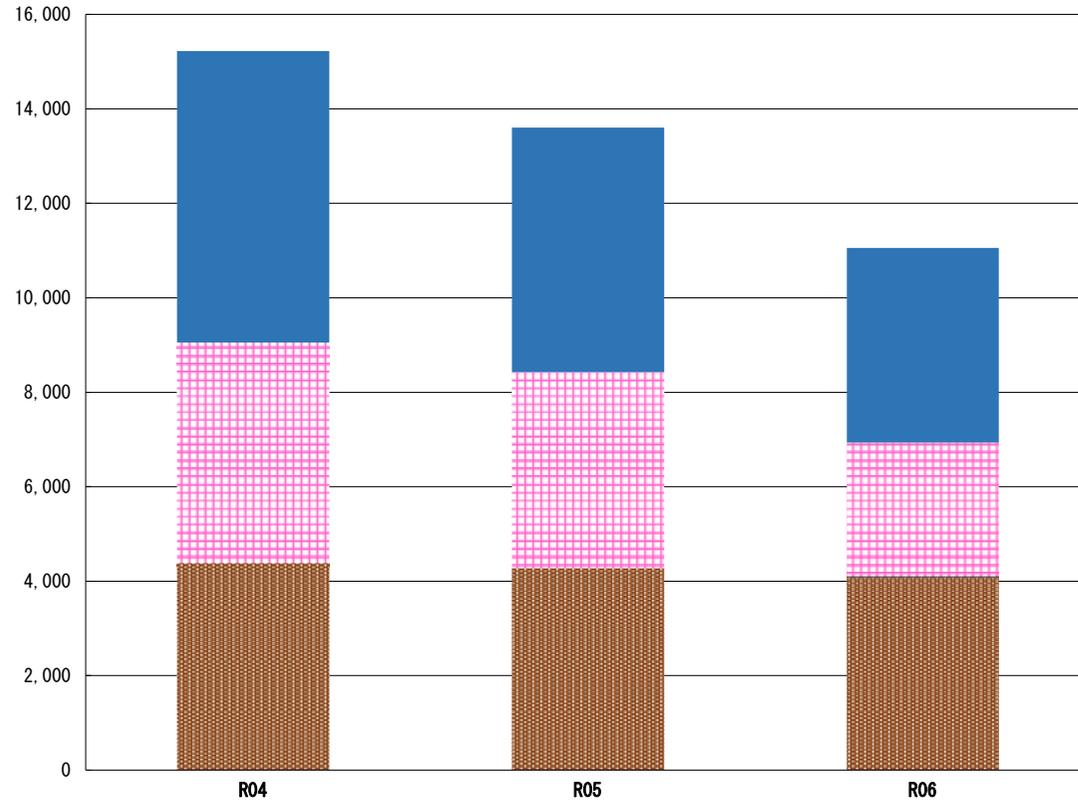
分子の構造		年度	R02	R03	R04	R05	R06
将来負担額 (A)	一般会計等に係る地方債の現在高		52,595	52,810	50,060	49,214	51,673
	債務負担行為に基づく支出予定額		6,001	6,149	6,275	5,857	5,130
	公営企業債等繰入見込額		9,410	8,904	8,678	7,844	7,033
	組合等負担等見込額		1,568	1,584	1,760	1,662	1,560
	退職手当負担見込額		9,710	9,410	8,998	9,295	9,541
	設立法人等の負債額等負担見込額		15	12	16	55	20
	うち、健全化法施行規則附則第三条に係る負担見込額		-	-	-	-	-
	連結実質赤字額		-	-	-	-	-
充当可能財源等 (B)	組合等連結実質赤字額負担見込額		-	-	-	-	-
	充当可能基金		16,104	17,614	16,933	14,956	12,229
	充当可能特定歳入		11,016	10,740	10,340	9,285	10,133
	基準財政需要額算入見込額		41,518	41,831	40,745	39,693	39,086
(A) - (B)	将来負担比率の分子		10,660	8,686	7,769	9,992	13,510

分析欄

令和6年度決算における将来負担比率は、39.8%で前年度に比べ9.3ポイント増加しています。
 主たる要因は充当可能財源等が24億8千6百万円減少していることによるものです。
 内訳としては、充当可能特定歳入が8億4千8百万円増加した一方で、充当可能基金が27億2千7百万円減少しています。

(11) 基金残高（東日本大震災分を含む）に係る経年分析（市町村）

(百万円)



(百万円)

区分	年度	R04	R05	R06
財政調整基金		4,378	4,279	4,089
減債基金		4,673	4,147	2,847
その他特定目的基金		6,175	5,176	4,117
公共施設等再生整備基金 (R06年度末現在)		5,115	4,058	2,838
海浜霊園管理運営基金 (R06年度末現在)		488	533	567
青少年音楽振興基金 (R06年度末現在)		103	101	98
すこやか子育て基金 (R06年度末現在)		89	73	79
国際交流基金 (R06年度末現在)		80	81	76
基金残高合計		15,225	13,602	11,052

令和6年度

千葉県習志野市

基金全体

(増減理由)
基金全体としましては、積立額に対し、公共施設等再生整備基金や市債管理基金が増加したため、基金残高は25億5千万円の減となっています。

(今後の方針)

不動産売払収入やふるさと納税等の寄附金による積み立てを行う一方、老朽化した公共施設再生にかかる公共施設等再生整備基金及び公債費の償還に充てる減債基金の適正な繰り入れを行うことにより、歳出事業費の縮減を図りつつ、より効果的な財政運営に努めていきます。

財政調整基金

(増減理由)

剰余金処分等により18億1千万円を積み立てた一方、一般財源として20億円を繰り入れたことにより、1億9千万円の減となっています。

(今後の方針)

標準財政規模に見合う範囲の残高確保に努めるとともに、歳出事業費の縮減を図りつつ、より効果的な財政運営に努めていきます。

減債基金

(増減理由)

不動産売払収入などにより3億4千9百万円を積み立てた一方、市債償還元金として16億5千万円を繰り入れたことにより13億1百万円の減となっています。

(今後の方針)

今後、公債費が増加することが予想されるため、減債基金の繰り入れにより一般財源負担の軽減を図りつつ、より効果的な財政運営に努めていきます。

その他特定目的基金

(基金の用途)

- 公共施設等再生整備基金：公共施設等の改築、改修その他整備に要する経費の財源に充てるため
- 国際交流基金：国際交流事業の円滑な執行を図るため
- すこやか子育て基金：子どもたちが健やかに生まれ育つ環境づくりの推進を図るため
- 海浜霊園管理運営基金：海浜霊園事業の円滑な管理運営に資するため
- 青少年音楽振興基金：青少年の音楽活動を奨励し振興を図るため

(増減理由)

- 公共施設等再生整備基金：主なものは規定分や寄附金等により1億3百万円を積み立てた一方、(仮称)藤崎こども園整備事業に2億4千7百万円、第二中学校校舎改築事業に3億8千5百万円、中学校長寿命化事業に2億5千5百万円を充当するなど、公共施設の改築、改修等に13億2千4百万円繰り入れたことにより、12億2千1百万円の減となっています。

- 海浜霊園管理運営基金：海浜霊園運営費に4千6百万円繰り入れる一方、海浜霊園の使用料等を8千万円を積み立てたことにより、3千4百万円の増となっています。
- 青少年音楽振興基金：寄附金等を積み立てた一方、青少年音楽振興基金事業等に3百万円を繰り入れたことにより、3百万円の減となっています。
- すこやか子育て基金：寄附金等により6百万円の増となっています。
- 国際交流基金：寄附金等を積み立てた一方、国際交流推進事業に5百万円を繰り入れたことにより、5百万円の減となっています。